

中核市サミット 秋田 宣言 2024

中核市は、地域の中核都市として、地方分権の推進と地域の発展に大きな役割を果たしてきました。

人口減少・少子高齢化の進行や世界的な異常気象など、時代の大きな転換期を迎える中、私たち中核市は、将来にわたって持続可能なまちづくりに向けて、長く受け継がれてきた文化や歴史といった地域固有の資源に光を当て、まちの個性を磨き、未来を力強く生きていくことが求められています。

本サミットでは、「これからをつくる、これからを生きる～中核市が創る「ひと・まち・くらし」の未来～」をテーマに、「再生可能エネルギーが創るまちの未来」「芸術文化が創るまちの未来」に焦点を置いて議論を行い、次のとおり、全国の中核市が連携して取り組むこととしました。

- 1 世界的に気候変動対策の取組が急がれる中、私たち中核市は、ゼロカーボンシティの実現とともに、エネルギーの地産地活を進め、新たな産業や雇用の創出など経済と環境の好循環を生み出すことにより、「再生可能エネルギーが創るまちの未来」を目指してまいります。
- 2 地域の特色を生かした芸術文化の振興が求められる中、私たち中核市は、地域の歴史や文化を生かした芸術文化活動の推進を通じて、地域資源を掘り下げ、市民とともにまちの魅力を再発見し、新しい文化や価値の創造に取り組むことにより、「芸術文化が創るまちの未来」を目指してまいります。

中核市62市の人口は約2,249万人となり、全国における存在感と地方自治の理念の実現に向けた中核市の責任は、今後もより一層大きくなっていきます。

私たち中核市は、これからの新しい社会をつくり、そして、これからをともに生き抜いていくため、寛容でしなやかな感性を持つ「ひと」を育み、溢れる創造力で「まち」の個性と魅力を磨き上げ、心豊かで希望に満ちた「くらし」の未来を創っていくことをここに宣言します。

令和6年10月31日

中核市市長一同